

**公益財団法人世界緑茶協会**  
**令和元年度事業報告**

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案する事業の実施を通じ、茶のある豊かな生活の実現に寄与した。

また、日本茶輸出促進協議会をはじめ、農林水産省、関係団体と連携して日本茶・静岡茶の海外への普及や輸出の促進を図った。

さらに、「世界お茶まつり 2019」において、産業、文化、学術に関するプログラムを実施しお茶の魅力発信と需要の拡大に努めた。

## 1 茶文化に関する講座及び体験事業（公益目的事業1）

### （1）茶文化セミナー等の開催

世界お茶まつり 2019 春の祭典において、お茶を学び五感で感じる体験講座を開催するなど、ふじのくに茶の都ミュージアムとの連携によるお茶を楽しむ機会の創出を図った。

区分	時期・場所	内容	人数
お茶文化体験講座	令和元年5月11日 ふじのくに茶の都ミュージアム（島田市金谷）	世界お茶まつり春の祭典において、親子等一般来場者を対象に日本茶を五感で感じる体験講座を行った。	一般来場者 800人
茶の都文化セミナー	令和元年5月17日、24日 ふじのくに茶の都ミュージアム（島田市金谷）	日本茶インストラクターを講師として新茶の時期ならではの楽しみ方を学ぶセミナーを開催した。	50人

### （2）情報誌「緑茶通信」等の発行

緑茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行した。

発行	内容	発行部数
令和元年 9月 45号	○特集：東アジアの視野からとらえた日本茶 ～近代史から探る日本茶の輸出戦略～ <ul style="list-style-type: none"><li>・世界的茶貿易商社から見た近代東アジアの茶業</li><li>・アジアとのかかわりから見た明治期の日本茶輸出</li><li>・戦前の朝鮮半島の茶文化の変遷と日本茶の拘わり</li><li>・日本茶の輸出を拡大するために</li></ul> ○特別寄稿 <ul style="list-style-type: none"><li>・『茶銚』から探る日中茶文化交流の跡</li></ul> ○連載記事 <ul style="list-style-type: none"><li>・茶業研究最前線「花王株式会社」</li><li>・茶関連施設紹介「斎田記念館（東京都）」</li><li>・全国の茶産地から「東海道どまん中 袋井茶」</li><li>・世界茶事情「烏龍茶だけじゃない注目される台湾産紅茶」</li><li>・世界緑茶協会レポート ほか</li></ul>	1,000部

令和2年 3月  46号	<p>○特集：世界緑茶会議 2019 ～世界の緑茶市場拡大への展望～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本緑茶の転換点 ー生産、消費、輸出についてー</li> <li>・世界の茶流通の現状と将来展望</li> <li>・米国における緑茶普及の最新情報と今後の方向性</li> <li>・総合的茶研究による世界への緑茶普及</li> <li>・カナダの緑茶マーケットと消費拡大へのアプローチ</li> </ul> <p>○特別寄稿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕覆の魅力 ー異国の織物が繋ぐモノと人ー</li> </ul> <p>○連載記事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶業研究最前線「沖縄県農業研究センター名護支所」</li> <li>・茶関連施設紹介「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」</li> <li>・全国の茶産地から「京都府宇治市」</li> <li>・ふじのくに茶の都ミュージアム便り</li> <li>・世界緑茶協会レポート ほか</li> </ul>	1,000部
-----------------------	--	--------

### (3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおか0-CHA プラザ」の静岡茶体験コーナーを運営し、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施した。(一部静岡県委託)。

#### ア しずおか0-CHA プラザの運営

施設規模	水の森ビル3階 67㎡ 15席
開場時間	月曜～金曜(祝日、年末年始を除く) 午前9時30分～午後4時30分
運営内容	茶関連書籍・資料の収集・閲覧、茶関連展示(県内茶産地の企画展示、世界緑茶コンテスト入賞茶等)、静岡県内産茶を使った淹れ方体験指導、ミニ講座の企画・運営
利用者数	6,038人

#### イ 静岡茶体験講座の企画運営

- ・ミニ講座開催実績

テーマ	開催時期	回数
世界お茶まつり春の祭典と世界のお茶	4月22日～4月26日	4回
新茶を味わう～至福のひとつとき～	5月22日～6月7日	8回
冷茶でほっと一息～個性あふれるお茶をアイスティーで～	6月25日～7月4日	8回
夏休みの自由研究に、親子で学ぶお茶講座	8月7日～8月8日	2回
魅力たっぷり国産紅茶～様々な味わいを楽しもう！～	9月12日～9月27日	8回
心惹かれる抹茶・粉末茶 自分好みの楽しみ方を探そう	11月27日～12月11日	8回
世界の0-CHAをつなごう	1月24日～2月19日	10回
計	7テーマ	48回

- ・学校、企業等を対象とした講座開催実績

学校・企業等の名称	開催回数
静岡県立静岡商業高等学校、静岡北特別支援学校南の丘分校、静岡市立中田小学校特別支援学級、静岡県立中央特別支援学校、藤枝特別支援学校、中国社会科学院工業経済研究所、中国浙江大学、シンガポール大学、米国クレイトン大学、JICA、ワルシャワ日本語学校、日本郵便株式会社、米国オマハ市（静岡市海外交流）、韓国副知事団、中国浙江省中長期調査員（静岡県海外交流）、インドネシア研修生等	計 47 回

## 2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

### （1）日本茶の輸出促進

#### ア 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市へ参加し、日本茶の特徴と淹れ方、機能性等を紹介するとともに、輸出拡大のための新規需要層の開拓と輸出事業者の支援を行った。

開催地	米国サンフランシスコ※
開催日	令和2年1月19、20、21日
名称	Winter Fancy Food Show 2020
開催場所	モスコーニセンター展示ホール

※日本茶輸出促進協議会事業

#### イ 日本茶輸出促進のための研修、人材育成

- ・海外留学生を対象に、日本茶の特徴や文化を英語（母国語）で説明できる人材を育成するための研修会を開催した。

実施日	場所	対象者	内容
令和2年 1月17日、22日、28日、 2月5日、12日、18日、 26日 (計7回)	しずおか O-CHA プ ラザ	アジア 11 カ 国・地域から の留学生 117人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本茶、静岡茶に関する知識習得</li> <li>・お茶のおいしい淹れ方体験</li> <li>・茶器の種類と使い方</li> </ul>

- ・海外の茶販売業者等を対象に、静岡茶の魅力を生産現場で学ぶ研修プログラム“Shizuoka Tea Study Program”を製茶業者等と連携して実施した。

実施時期・期間	研修受入先	研修受講者	内容
令和2年2月 5日間(一部受講者は 4日間)	製茶業者・農 業法人6社	フランス、オラ ンダ、スペイン、 スイス、UAE、ブ ラジル、米国 計9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡茶の栽培、荒茶加工、仕上げ加工研修</li> <li>・茶品質評価法研修</li> <li>・お茶の産業、歴史、文化、機能性説明</li> </ul>

## (2) 世界への情報集積・発信

### ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらに関連して農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報収集を図った。

区 分	内 容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ITC (国際茶委員会) 及び FAO-IGG on Tea (国連世界食糧農業機関「茶に関する政府間グループ会議」) における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集、国際的課題の調査。</li><li>・ ISO (国際標準化機構) TC34/SC8 (食品部会/茶専門分科会) における日本(農水省)の国内審議団体への参画、意見調整、ISO 事務局への投票業務。</li></ul>
各国の茶関連団体との交流、情報交換	茶に関連する海外の団体 (全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等) や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行った。 <海外特別会員の状況 (令和2年3月)> 16 か国・地域、27 者・団体： 中国 2、韓国 2、台湾 4、米国 5、英国 2、イタリア 2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア各 1

### イ O-CHA ネット、会員制情報共有サイトを活用した情報集積と発信

公式ウェブサイト「O-CHA ネット」や、ソーシャルネットワーキングサービス (Facebook) 等を活用し、情報発信を図った。

媒 体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公式ホームページ「O-CHA ネット」(日英)</li><li>・ 賛助会員向けメールマガジン : 計 25 回発行</li><li>・ Facebook (多言語発信) : 情報提供 73 件</li></ul>
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本茶に関する基礎知識、専門知識</li><li>・ 茶の機能・効能に関する研究成果情報</li><li>・ 国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況</li><li>・ 国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報</li><li>・ 協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報</li></ul>

## (3) 世界緑茶会議の開催

「世界お茶まつり 2019」の産業・学術プログラムの一つとして「世界緑茶会議」を開催した。米国、カナダ等の茶専門家海外における緑茶流通の最新情勢を報告するとともに、世界の緑茶市場拡大に関する今後の展望について意見交換を行った。

開催期日	令和元年 11 月 8 日(金) 10:30~17:00
開催場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 11 階 会議ホール「風」
講演者	武田善行 (日本茶業学会前会長) マニージャ・ペイリス (英国・国際茶委員会最高経営責任者) ロナ・ティソン (伊藤園北米株式会社副社長) キャサリン・バーネット (米国カリフォルニア大学デービス校准教授・GTI 創設ディレクター) シャブナム・ウェバー (カナダ茶・ハーブ協会会長)
会議内容	○講演 ・日本茶の転換点 -生産、消費、輸出について- ・世界の茶流通の現状と今後の方向性 ・米国における緑茶普及の最新情報と今後の方向性 ・総合的茶研究による世界への緑茶普及 ・カナダの緑茶マーケットと消費拡大へのアプローチ ○パネルディスカッション ・世界の緑茶市場拡大に関する今後の展望
参加人数 (聴講者)	国内茶業者、輸出関連事業者、海外茶業者等 計 207 人

#### (4) 世界緑茶コンテストの開催

##### ア 世界緑茶コンテスト 2019 の開催

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案するコンテストを開催した。

募集期間	平成 31 年 4 月～令和元年 7 月 1 日
審査会	令和元年 8 月 22～23 日 ふじのくに茶の都ミュージアム (島田市金谷)
出品点数	日本 48 点、海外 55 点 計 103 点
審査結果	最高金賞 12 点、金賞 22 点、パッケージ大賞 1 点、フロンティア賞 1 点、奨励賞 1 点
表彰式	令和元年 11 月 7 日 世界お茶まつり 2019 秋の祭典レセプション会場 (静岡市)
展示紹介等	・世界お茶まつり 2019 秋の祭典 (グランシップ中ホールエントランス、令和元年 11 月 7 日～10 日) ・公式サイト「O-CHA ネット」に掲載、しずおか O-CHA プラザ展示等

### (5) O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる学術研究や産業技術、国際交流等の優れた成果について、4件の取組を顕彰した。

募集期間	令和元年9月～令和2年1月7日
選考委員会	令和2年3月11日

#### <受賞者・団体>

部門	受賞者・団体	受賞タイトル
O-CHA 特別大賞	王 亜雷（日本中国茶協会会長）	長年にわたる日中茶産業・学術交流への貢献
産業技術・商品 開発大賞	静岡県農林技術研究所茶業研究センター製茶加工技術科	緑茶の新たな需要を喚起する「香り緑茶」の開発
CHALLENGE 賞	李 瑛子（韓国茶道東京茶礼房房主、韓国茶道協会東京支部長ほか）	日韓茶文化交流への貢献
CHALLENGE 賞	学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校科学部水質班	茶粕による鉄イオンの光還元を用いた省エネ水電解による水素製造

### 3 ウェブサイトバナー広告（収益事業）

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHA ネット」において、お茶関連事業者（当協会会員）の広告を掲載することによりホームページを充実させて需用者の便宜を図るとともに、当協会ホームページを中心にしたネットワークの構築をすすめた。

---

#### 令和元年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項及び定款第12条に規定する事業報告附属明細書の作成にかかる事項はありません。

# 貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	9,568,516	9,790,188	-221,672
普通預金	9,568,516	9,790,188	-221,672
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	4,370,373	6,933,946	-2,563,573
静岡銀行 駅南支店 普通763138	466,340	505,169	-38,829
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	4,731,803	2,351,073	2,380,730
未収金	1,635,880	1,634,894	986
前払金	29,820	29,820	0
立替金	0	9,660	-9,660
<b>流動資産合計</b>	<b>11,234,216</b>	<b>11,464,562</b>	<b>-230,346</b>
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	387,500,146	388,005,152	-505,006
投資有価証券(指定)	387,500,146	388,005,152	-505,006
定期預金(基)	5,499,854	4,994,848	505,006
<b>基本財産合計</b>	<b>393,000,000</b>	<b>393,000,000</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,900,000	1,700,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	1,900,000	1,700,000	200,000
<b>特定資産合計</b>	<b>1,900,000</b>	<b>1,700,000</b>	<b>200,000</b>
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	0	24,300	-24,300
<b>その他固定資産合計</b>	<b>0</b>	<b>24,300</b>	<b>-24,300</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>394,900,000</b>	<b>394,724,300</b>	<b>175,700</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>406,134,216</b>	<b>406,188,862</b>	<b>-54,646</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,274,124	2,673,035	601,089
前受金	330,000	170,700	159,300
預り金	144,875	276,767	-131,892
送料	248	464	-216
厚生年金預り	88,755	170,190	-81,435
健康保険料預り	55,872	106,113	-50,241
賞与引当金	1,000,000	960,000	40,000
<b>流動負債合計</b>	<b>4,748,999</b>	<b>4,080,502</b>	<b>668,497</b>
2 固定負債			
退職給付引当金	1,900,000	1,700,000	200,000
<b>固定負債合計</b>	<b>1,900,000</b>	<b>1,700,000</b>	<b>200,000</b>
<b>負債の部合計</b>	<b>6,648,999</b>	<b>5,780,502</b>	<b>868,497</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>393,000,000</b>	<b>393,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 393,000,000)	( 393,000,000)	( 0)
2 一般正味財産	6,485,217	7,408,360	-923,143
<b>正味財産の部合計</b>	<b>399,485,217</b>	<b>400,408,360</b>	<b>-923,143</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>406,134,216</b>	<b>406,188,862</b>	<b>-54,646</b>

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,840,457	6,840,593	-136
特定資産運用益			
特定資産受取利息	16	15	1
受取会費			
会費収益	9,785,000	10,480,000	-695,000
事業収益			
受講料等収益	504,644	537,148	-32,504
情報誌発行収益	138,040	194,600	-56,560
出展負担金等収益	50	404,350	-404,300
世界緑茶コンテスト出品料	1,105,494	1,386,766	-281,272
世界緑茶コンテスト出品料	1,105,494	806,766	298,728
国際名茶品評会出品料		580,000	-580,000
パナ-広告収益	680,000	680,000	
受取補助金等			
補助金収益	5,429,000	5,429,000	
委託費収益	10,671,984	2,377,948	8,294,036
受取助成金		1,140,000	-1,140,000
受取負担金	467,478	649,446	-181,968
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	
雑収益			
受取利息	140	81	59
経常収益合計	37,622,303	32,119,947	5,502,356
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,242,000	4,142,000	100,000
給料手当	9,247,340	8,633,426	613,914
臨時雇賃金	2,351,616	2,158,000	193,616
福利厚生費	3,385,108	3,287,600	97,508
会議費		9,300	-9,300
旅費交通費	2,598,205	847,111	1,751,094
通信運搬費	467,970	507,855	-39,885
減価償却費	24,300	32,400	-8,100
消耗什器備品費	425,620	89,910	335,710
消耗品費	1,180,772	1,013,563	167,209
印刷製本費	983,472	112,676	870,796
保険料	29,820	29,820	
諸謝金	3,264,404	735,950	2,528,454
租税公課	13,000	1,600	11,400
支払負担金	376,634	1,798,074	-1,421,440
委託費	6,047,876	1,669,680	4,378,196
手数料	477,494	59,875	417,619
管理費			
役員報酬	750,000	850,000	-100,000
給料手当	867,000	909,000	-42,000
退職給付費用	200,000	100,000	100,000
福利厚生費	326,683	330,748	-4,065
会議費		23,300	-23,300
旅費交通費	93,350	111,760	-18,410
通信運搬費	574	21,674	-21,100



# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗品費	8,720	14,294	-5,574
印刷製本費	6,160	6,048	112
光熱水料費	99,852	135,924	-36,072
賃借料	9,007	35,121	-26,114
諸謝金		27,000	-27,000
租税公課	2,250	41,950	-39,700
支払負担金	150,000	150,000	
委託費	823,820	817,560	6,260
手数料	21,399	24,314	-2,915
経常費用合計	38,474,446	28,727,533	9,746,913
評価損益等調整前当期経常増減額	-852,143	3,392,414	-4,244,557
評価損益等計			
当期経常増減額	-852,143	3,392,414	-4,244,557
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	-852,143	3,392,414	-4,244,557
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	-923,143	3,321,414	-4,244,557
一般正味財産期首残高	7,408,360	4,086,946	3,321,414
一般正味財産期末残高	6,485,217	7,408,360	-923,143
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	399,485,217	400,408,360	-923,143

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	3,420,228	3,420,228	0	0	3,420,229	0	6,840,457
基本財産の運用収入			3,420,228	3,420,228			3,420,229		6,840,457
特定資産受取利息							16		16
特定資産受取利息							16		16
受取会費	0	0	9,785,000	9,785,000	0	0	0	0	9,785,000
会費収入			9,785,000	9,785,000					9,785,000
事業収益	576,684	1,171,544		1,748,228	680,000	680,000	0	0	2,428,228
受講料収入	438,644	66,000		504,644		0			504,644
情報誌発行収入	138,040			138,040		0			138,040
出展負担金等収入		50		50		0			50
世界緑茶コンテスト出品料		1,105,494		1,105,494		0			1,105,494
バナー広告収入				0	680,000	680,000			680,000
受取補助金等	2,421,984	14,146,478	0	16,568,462	0	0	0	0	16,568,462
委託費収入	2,421,984	8,250,000		10,671,984		0			10,671,984
補助金収入		5,429,000		5,429,000		0			5,429,000
助成金収入									0
受取負担金		467,478		467,478					467,478
受取寄付金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
茶取引安定協会特定寄附			2,000,000	2,000,000		0			2,000,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	140	0	140
受取利息				0		0	140		140
雑収益	0			0		0			0
<b>経常収益計</b>	<b>2,998,668</b>	<b>15,318,022</b>	<b>15,205,228</b>	<b>33,521,918</b>	<b>680,000</b>	<b>680,000</b>	<b>3,420,385</b>	<b>0</b>	<b>37,622,303</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
(2)経常費用									
事業費	10,173,906	24,928,725	0	35,102,631	13,000	13,000		0	35,115,631
役員報酬	1,102,920	3,136,080		4,239,000	3,000	3,000			4,242,000
給料手当	2,774,202	6,469,138		9,243,340	4,000	4,000			9,247,340
臨時雇賃金	2,344,416	7,200		2,351,616		0			2,351,616
福利厚生費	947,831	2,435,277		3,383,108	2,000	2,000			3,385,108
会議費				0		0			0
旅費交通費	203,524	2,394,681		2,598,205		0			2,598,205
通信運搬費	152,895	315,075		467,970		0			467,970
減価償却費		24,300		24,300		0			24,300
消耗什器備品費	197,868	227,752		425,620		0			425,620
消耗品費	596,005	584,767		1,180,772		0			1,180,772
修繕費				0		0			0
印刷製本費	52,248	931,224		983,472		0			983,472
光熱水料費				0		0			0
賃借料				0		0			0
保険料	29,820			29,820		0			29,820
諸謝金	211,682	3,052,722		3,264,404		0			3,264,404
租税公課	1,400	11,600		13,000		0			13,000
支払負担金		376,634		376,634		0			376,634
委託費	1,438,800	4,605,076		6,043,876	4,000	4,000			6,047,876
広告宣伝費				0		0			0
手数料	120,295	357,199		477,494		0			477,494
雑費				0		0			0
管理費							3,358,815	0	3,358,815
役員報酬							750,000		750,000
給料手当							867,000		867,000
退職給付金支出							200,000		200,000
福利厚生費							326,683		326,683
会議費									0
旅費交通費							93,350		93,350
通信運搬費							574		574
消耗什器備品費									0
消耗品費							8,720		8,720
減価償却費							0		0
印刷製本費							6,160		6,160
光熱水料費							99,852		99,852
賃借料							9,007		9,007
諸謝金									0
租税公課							2,250		2,250
支払負担金							150,000		150,000
委託費							823,820		823,820
手数料							21,399		21,399
雑費									
<b>経常費用計</b>	<b>10,173,906</b>	<b>24,928,725</b>	<b>0</b>	<b>35,102,631</b>	<b>13,000</b>	<b>13,000</b>	<b>3,358,815</b>	<b>0</b>	<b>38,474,446</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,175,238	△ 9,610,703	15,205,228	△ 1,580,713	667,000	667,000	61,570	0	△ 852,143
基本財産評価損益等				0		0			0
特定資産評価損益等				0		0			0
投資有価証券評価損益等				0		0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,175,238	△ 9,610,703	15,205,228	△ 1,580,713	667,000	667,000	61,570	0	△ 852,143
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
中科目別記載				0		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
中科目別記載				0		0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、市民税及び事業税							71,000		71,000
他会計振替額			332,879	332,879	△ 332,879	△ 332,879			0
当期一般正味財産増減額	△ 7,175,238	△ 9,610,703	15,538,107	△ 1,247,834	334,121	334,121	△ 9,430	0	△ 923,143
一般正味財産期首残高	△ 36,796,529	△ 52,377,938	98,616,530	9,442,063	2,056,216	2,056,216	△ 4,089,919	0	7,408,360
一般正味財産期末残高	△ 43,971,767	△ 61,988,641	114,154,637	8,194,229	2,390,337	2,390,337	△ 4,099,349	0	6,485,217
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等				0		0			0
一般正味財産への振替額				0		0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			196,500,000	196,500,000		0	196,500,000		393,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	196,500,000	196,500,000	0	0	196,500,000	0	393,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>△ 43,971,767</b>	<b>△ 61,988,641</b>	<b>310,654,637</b>	<b>204,694,229</b>	<b>2,390,337</b>	<b>2,390,337</b>	<b>192,400,651</b>	<b>0</b>	<b>399,485,217</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産(ソフトウェア)……定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

##### ② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金				
定期預金	4,994,848	505,006		5,499,854
有価証券	388,005,152		505,006	387,500,146
小計	393,000,000	505,006	505,006	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,700,000	200,000		1,900,000
小計	1,700,000	200,000		1,900,000
合計	394,700,000	705,006	505,006	394,900,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	5,499,854	(5,499,854)		
有価証券	387,500,146	(387,500,146)		
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	1,900,000			(1,900,000)
小計	1,900,000			(1,900,000)
合計	394,900,000	(393,000,000)		(1,900,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

#### 4. 担保に供している資産

なし

#### 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	162,000	162,000	0
合 計	162,000	162,000	0

#### 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
11 30年国債	217,808,040	268,740,000	50,931,960
111 20年国債	169,692,106	192,880,000	23,187,894
合 計	387,500,146	461,620,000	74,119,854

#### 7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	5,429,000	5,429,000	0	一般正味財産
合 計		0	5,429,000	5,429,000	0	

#### 8. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	960,000	1,000,000	960,000		1,000,000
退職引当金	1,700,000	200,000			1,900,000

# 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
	現金・預金	普通預金			
		スルガ銀行静岡南支店	運転資金として	4,370,373	
		静岡銀行駅南支店	運転資金として	466,340	
	ゆうちょ銀行〇八九店当座	運転資金として	4,731,803		
	未収金		補助金収入等	1,635,880	
	前払金		次年度分の保険料等	29,820	
流動資産合計				11,234,216	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	定期預金	スルガ銀行静岡南支店	公益目的保有財産、管理活動財産として運用益を公益目的事業、管理費の財源に使用	5,499,854	
	有価証券	大和証券静岡支店 第11回30年国債	公益目的保有財産、管理活動財産として運用益を公益目的事業、管理費の財源に使用	217,808,040	
		大和証券静岡支店 第111回20年国債	公益目的保有財産、管理活動財産として運用益を公益目的事業、管理費の財源に使用	169,692,106	
特定資産	退職給付引当資産	スルガ銀行静岡南支店	従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	1,900,000	
その他固定資産					
固定資産合計				394,900,000	
資産合計				406,134,216	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金		引落し時期が年度をまたぐ委託費等	3,274,124	
			次年度賛助会費預り分等	330,000	
	前受金		機関誌送料の預り分	248	
	預り金		厚生年金	従業員3名の厚生年金預り分	88,755
			健康保険料	従業員3名の健康保険料預り分	55,872
賞与引当金	従業員に対するもの	従業員3名に対する賞与の支払いに備えたもの	1,000,000		
流動負債合計				4,748,999	
<b>(固定負債)</b>					
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	1,900,000	
固定負債合計				1,900,000	
負債合計				6,648,999	
正味財産				399,485,217	



# 監査報告書

公益財団法人世界緑茶協会  
会長 川勝 平太 殿

令和2年5月27日

公益財団法人世界緑茶協会

監事

志村信明 

公益財団法人世界緑茶協会

監事

池田文信 

私たち監事は、当協会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。